

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

|         |              |
|---------|--------------|
| 事業所番号   | 3890100518   |
| 法人名     | 株式会社 ニチイ学館   |
| 事業所名    | ニチイのほほえみ松山   |
| 所在地     | 松山市余戸南4丁目4-2 |
| 自己評価作成日 | 平成21年11月13日  |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS            |
| 所在地   | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成21年12月21日               |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日々楽しく生きがいを持って生活ができる様、利用者様の要望を取り入れ家庭的な料理、生活空間・定期的な行事に力を入れ取り組んでいる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

昨年の町内運動会では、管理者等がリレーの選手で活躍されたり、ユニット長は、地域の自治会にも参加して、地域とのつながりを強めておられ、この一年間、事業所全体で地域との関係作り力を入れて取り組まれた。音楽関係の団体のボランティアの方の訪問もあり、最近ではトーンチャイムの演奏を聞かせてもらったり、クリスマス会等には踊りを披露してくれるボランティアの方が来てくださる予定になっていた。

今年から季節ごとに発行されている事業所通信「ほほえみ通信」は、ご家族や地域の方に届けられており、職員の紹介やボランティアの方が来られた際の様子写真入りで載せてある。「深い良い言葉のコーナー」には、利用者の発言を取り上げて、そのエピソードが載せられている。又、利用者個別に「ほほえみ日記」を作成して、ご本人の行事時等の様子等をご家族に伝えておられる。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>該当するものに印  | 項目 | 取り組みの成果<br>該当する項目に印   |
|----|--|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目：23,24,25)     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. <b>利用者の2/3くらい</b><br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目：9,10,19)    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目：18,38)            | 1. <b>毎日ある</b><br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目：2,20)                       |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目：38)                 | 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b><br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)   | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. <b>利用者の2/3くらいが</b><br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目：11,12)  |
| 60 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. <b>利用者の2/3くらいが</b><br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目：30,31)       | 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b><br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目：28) | 1. <b>ほぼ全ての利用者が</b><br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ニチイのほほえみ松山

(ユニット名) すずらん

記入者(管理者)

氏名 松下 美保

評価完了日

2009年11月13日

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|-----------------|------|---|---|---|
| <b>理念に基づく運営</b> |      |   |   |   |
| 1               | 1    | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | (自己評価)<br>毎朝、朝礼にて当社の理念をスタッフ全員で唱和し、その人らしく暮らせる様サポートしている。  |   |
|                 |      |   | (外部評価)<br>職員は、法人全体の理念を毎朝の朝礼で唱和されている。  | さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として目指すことについて、全ての職員で話し合い、法人理念にも基づき、事業所独自の理念を作り上げていられることが期待される。全ての職員で理念を共有して日々のケアに取り組みしてほしい。 |
| 2               | 2    | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | (自己評価)<br>利用者の方と散歩買い物に出かける時、挨拶や話をする。散歩の途中庭の花を見せて頂く。地域での催し物があるときは利用者の方と一緒に参加する。事業所で催し物をする時は自治会に案内書を送り、近所の方々に声かけしたり、チラシを配る。   |   |
|                 |      |   | (外部評価)<br>昨年の町内運動会では、管理者等がリレーの選手で活躍されたり、ユニット長は、地域の自治会にも参加して、地域とのつながりを強めておられ、この一年間、事業所全体で地域との関係作りに力を入れて取り組まれた。音楽関係の団体のボランティアの方の訪問もあり、最近ではトーンチャイムの演奏を聞かせてもらったり、クリスマス会等には踊りを披露してくれるボランティアの方が来てくださる予定になっていた。中学生の職場体験も受け入れておられる。 |   |
| 3               |      | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価)<br>催し物を開いたり、地域での催し物、清掃に参加し地域貢献に努めている。  |   |
|                 |      |   |   |   |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 4    | 3    | 運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実<br>際、評価への取組み状況等について報告<br>や話し合いを行い、そこでの意見をサービ<br>ス向上に活かしている       | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 当事業所の取組みを知って頂いたり、意見アドバイ<br>スを頂き、サービス向上に活かしている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
|      |      |  | 今年10月に法人内のニチイグループの合併があり、<br>会議時に料金改定や食事提供の変更等の説明をして参<br>加者に意見を聞かれた。又、事業所で行う「ほほえみ<br>祭り」や「5周年イベント」を会議として、会議メン<br>バーの方等と利用者が交流する機会を作っておられ<br>る。他事業所の運営推進会議に出席されたり、他事業<br>所のクリスマス会に利用者とともに出かける予定と<br>なっていた。 |                               |
| 5    | 4    | 市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、<br>事業所の実情やケアサービスの取組みを積<br>極的に伝えながら、協力関係を築くように<br>取り組んでいる               | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 定期的に市町村窓口を訪問し情報を収集している。対<br>応に苦慮した場合は適宜相談しアドバイスを頂くよう<br>にしている。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
|      |      |  | 地域包括支援センター主催で、年2回、地区のグルー<br>プホームの集まりがあり、参加して意見交換されてい<br>る。   |                               |
| 6    | 5    | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準におけ<br>る禁止の対象となる具体的な行為」を正し<br>く理解しており、玄関の施錠を含めて身体<br>拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)   |                               |
|      |      |  | 禁止の対象となる具体的な行為についてはスタッフ全<br>員に資料を提示し理解してもらい身体拘束をしないケ<br>アを実践している。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)   |                               |
|      |      |  | ユニット会議時に事例等を用いて、身体拘束や虐待に<br>ついて話し合い、日々のケアについて確認するよう<br>になっている。   |                               |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|--|--|---|
| 7    |      | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br><br>虐待となる事例について、ホーム会議、ユニット会議にて話し合いスタッフ全員の問題として注意喚起を行っている。  |   |
| 8    |      | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br><br>制度概要の説明、申し立て手続きに関する専門機関や相談窓口の紹介等を出来る体制を整えている。  |   |
| 9    |      | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br><br>利用者の方の要望内容を聞き、当社にて入居判定会を開いて決定する。詳細については契約時に詳しく説明を行う。又、必要に応じ家族会を設け説明を行う。  |   |
| 10   | 6    | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br><br>ホーム長、ユニットリーダーの位置づけがあり随時相談できる体制を整えている。公的機関の窓口も契約時に説明している。<br><br>(外部評価)<br><br>今年から季節ごとに発行されている事業所通信「ほほえみ通信」は、ご家族や地域の方に届けられており、職員の紹介やボランティアの方が来られた際の様子や写真入りで載せてある。「深い良い言葉のコーナー」には、利用者の発言を取り上げて、そのエピソードが載せられている。又、利用者個別に「ほほえみ日記」を作成して、ご本人の行事時等の様子をご家族に伝えておられる。 | さらに、利用する側であるご家族や利用者のご意見はサービス向上に向けての貴重な声でもあることから、ご家族への報告をすすめていかれながら、事業所のケアサービスへのご希望やご意見を引き出していかれてほしい。又、ご家族の心情も踏まえ、ご家族が心配や不安に思っていること等を聞き取るような機会も作っていかれてほしい。 |



## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                     | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|--------------------------|------|---|---|--|
| 11                       | 7    | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | (自己評価)  |  |
|                          |      |   | ホーム会議、ユニット会議を開催することによりスタッフの意見を取り込める。  |  |
|                          |      |   | (外部評価)  |  |
|                          |      |   | 事業所全体の会議やユニット会、カンファレンス等、職員が集まって話す機会が月に3回ほどあり、管理者等は、法人等で決まったことを伝えたり、業務のことやケアの課題等について話し合っておられる。 | さらに、法人内の系列グループホーム管理者を招き研修等を行っているが、職員が外部研修を受けたり、介護知識や技術を学ぶような機会は現在少ないようである。事業所のさらなるケアの質向上を目指していく上でも、職員個々がスキルアップできるような研修等の仕組み作りが期待される。外部研修の受講や事業所内でも研修できるような年間計画を立てて取り組む等、質の高いケアサービスを提供できるような取り組みをすすめていかれてほしい。 |
| 12                       |      | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | (自己評価)  |  |
|                          |      |   | 幹部会議を定期的に行い、職員個々の勤務状態を詳細に把握し面談を行うなどして意欲の向上に努めている。職員個々の能力に応じて目標や課題に取り組むよう促している。                |  |
| 13                       |      | 職員を育てる仕組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | (自己評価)  |  |
|                          |      |   | 採用時にオリエンテーションを行い、時期必要に応じ本社主催の研修を受講している。例月のホーム会議、ユニット会議でも勉強会を行っている。                            |  |
| 14                       |      | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価)  |  |
|                          |      |   | 少しずつ他のグループホームを見学させてもらう機会を増やし、情報交換をしたり自社グループホームとの情報交換をしサービスの質の向上に努めている。                        |  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |  |
| 15                       |      | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | (自己評価)  |  |
|                          |      |   | 不安な事や困っている事など話を聞き安心できるように声かけ対応に努めている。   |  |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 16   |      | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>面会時に状況を報告したり、家族と話し合う時間を設け家族が不安に思っている事要望等を聞き安心していただけるよう努力している。   |                               |
| 17   |      | 初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>本人、家族が今まず必要としている支援を見極め、個々にあったサービスを提供する。   |                               |
| 18   |      | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>本人の出来ること出来ないことを理解した上で日々の生活において学ぶ事が出来る様に配慮しお互いに支えあえるよう工夫している。  |                               |
| 19   |      | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>お互いの立場を理解して上でよりよい関係が築けるよう配慮し支援する。   |                               |
| 20   | 8    | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>プライバシーに配慮しつつ電話等で支援している。土日祝日など関係なく面会できる体制を整えている。<br>(外部評価)<br>居室にご家族の携帯電話の番号を貼っておられる方がいた。お友達が会いに来てくれる方もあり、おしゃべりを楽しまれる際には、職員がお茶をお出ししている。ご兄弟に年賀状を出す方には、職員が日ごろの様子を書き添えることもある。 |                               |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|----------------------------------|------|--|--|--|
| 21                               |      | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>共に食事をとったり共有のスペースにテレビ等を置きコミュニケーションをとれるよう支援している。   |  |
| 22                               |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>近況についてゆっくりお伺いする時間をつくる。   |  |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |
| 23                               | 9    | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>できる限り希望には答え対応できるようにケアに努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者とのかかわりの中で得た情報は、職員の申し送り等で伝えるようにされている。ユニット長は、利用者に馴染みの俳優の絵をクイズ形式で、廊下に掲示して話を聞くきっかけにされている。 | 現在、事業所では「利用者ゆっくりかかわる時間が少ないのではないか」と感じておられる。又、「利用者とのどのような会話をしたらよいか」「どのように声をかけたらよいか」と悩んでおられるような職員もある。利用者個々とかかわるきっかけ作りを工夫されたり、利用者のお話を引き出したり、関わり方や場面作りの工夫を重ねていかれ、利用者個々の思いや意向の把握に努力され、日々のケアにつなげていかれてほしい。 |
| 24                               |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>日々の会話の中から聞き取りサービスに活かしている。  |  |
| 25                               |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>バイタル測定、食事の摂取量、体重測定など日々個々に記録し心身の状態を把握している。  |  |



## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                   |
|------|------|---|--|---|
| 26   | 10   | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価)   |   |
|      |      |   | 各ユニットにて更新時、退院時、状態変化の都度カンファレンスを行ない入居者、家族の要望を聞き入れて介護計画の作成を行っている。   |   |
|      |      |   | (外部評価)   |   |
|      |      |   | 入居時に、ご家族やご本人から生活への意向をお聞きしている。ケアマネージャーが、職員の意見や気付きを聞き取り、利用者の様子等も見て介護計画を作成されている。法人の「週間サービス計画表」には「排泄・尿パット確認」等、時系列で職員が支援する内容が記入されていた。 | さらに、ご本人やご家族が求めておられる生活への希望等をお聞きして、それらを十分に採り入れた介護計画の作成に取り組まれてほしい。 |
| 27   |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | (自己評価)   |   |
|      |      |   | 日々個人記録、管理日誌の記録を行い申し送りにて結果気づきを伝え日々のケアに活かしたりユニット会議をして介護計画の見直しが必要になった時にスムーズに対応出来るように努めている。  |   |
| 28   |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | (自己評価)   |   |
|      |      |   | 福祉用具等の提供相談を行っている。  |   |
| 29   |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | (自己評価)   |   |
|      |      |   | 地域のボランティアや消防、民生委員や町内の協力を得て催し物や個々の利用者に合わせたサービスを提供している。  |   |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|---|---|---|
| 30   | 11   | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している  | (自己評価)  |   |
|      |      |   | 提携医と連携をとり、納得のいく対応が出来ている。  |   |
|      |      |   | (外部評価)  |   |
|      |      |   | 利用者個々のかかりつけ医にご家族が付き添い、受診<br>するようになっている。ご家族の都合によっては、職<br>員が受診に同行されている。 |   |
| 31   |      | 看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | (自己評価)  |   |
|      |      |   | 提携医へ相談、必要に応じ職員が受診と一緒に行き適<br>切な看護を受けられるように支援している。                      |   |
| 32   |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療でき<br>るように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | (自己評価)  |   |
|      |      |   | 入院先への訪問により、状況把握を行い受け入れ準備<br>を行っている。                                   |   |
| 33   | 12   | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価)  |   |
|      |      |   | 提携医の指示を仰ぎながら家族との連絡を取り合っ<br>ている。                                       |   |
|      |      |   | (外部評価)  |   |
|      |      |   | 入居時に、利用者ご家族に医療が必要になったら病院<br>に入院となることを説明されている。                         | さらに、ご本人の重度化や終末期のあり方についてご<br>家族が不安や心配に思われていることはないか、聞き<br>取ってみよう機会とされてほしい。事業所の方針<br>等を示して、ご家族の希望等もお聞きしながら、事業<br>所で「できること・できないこと」等について、ゆっ<br>くり話し合ってみてほしい。 |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|-------------------------------|------|---|--|--|
| 34                            |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br><br>定期的に応急手当の講習を行ったりホーム会議や回覧等で対応方法について学べるようにしている。  |  |
| 35                            | 13   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br><br>定期的に避難訓練を行っている。利用者の歩行能力の低下や体調不良にはその状態に合わせた避難方法を考え確実に利用者が避難できるようにしている。<br><br>(外部評価)<br><br>避難訓練を実施し、消防署の方に「職員が一人の時には利用者をひと所に集める」ということを教えていただいた。いざという時には、事業所と距離が近いところに住む職員が駆けつけることになっている。                         |  |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |  |
| 36                            | 14   | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br><br>ひとりひとりの人格を尊重し、さりげない介助やトイレお風呂等での礼儀に気を付けて対応。<br><br>(外部評価)<br><br>管理者は、職員が利用者に対して気になる対応をしていた際には、顔を見ながら注意するようにされている。ユニットリーダーは「認知症に関係なく、人としてかわることを大切にする」ことを職員に伝えておられる。調査訪問時、職員の利用者への接し方や対応には、配慮が必要と思われるような場面が多々見られた。 | 現在、法人のヘルパー2級講習を受講後に就職された職員も多くおられる。さらに、職員を育てていくような取り組みが期待される。又、利用者へのかかわり方や笑顔を大切にされる等、職員が作り出す雰囲気を利用者にとって居心地のよいものであるか、ということを利用者の立場に立って考えてみてほしい。 |
| 37                            |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br><br>衣・食・住等の日常生活をはじめ本人の思いや希望にも本人の理解に応じて説明を行い自ら選択できるようなケアを行い心掛けている。  |  |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|--|--|---|
| 38   |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>一人ひとりのペースを大切に本人の希望ペースにあわせた支援を心掛けている。   |   |
| 39   |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | (自己評価)<br>美容室の利用やホームへの訪問理容サービス等本人の希望に沿うよう支援している。   |   |
| 40   | 15   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | (自己評価)<br>声かけし、出来ることは手伝っていただき少しでも参加出来るよう支援している。<br>(外部評価)<br>事業所では、今年7月から食事作りの形態を変更されており、これまでは食材の宅配サービスを利用されていたが、7月からは、食材の買い出しから調理まで職員と利用者で行うようになっていた。庭の畑の野菜等も使っておられる。管理者は利用者が買物に行く機会が増えたと話しておられた。食事はおかずを3品は作ることとされている。職員はお弁当を持参し、個々が時間をずらして食べるようにされている。 | 現在、食事を作る際に味見をされているが、職員は利用者と同じものを食べる機会は少ないようである。ユニット長は「利用者とともに生活する」ことを大切にされていることから、利用者と同じものを食べながら、ともに楽しむような機会を増やしていかれてはどうか。又、利用者ご本人のお誕生日の食事等も工夫されてみてはどうか。法人とも相談しながら取り組みをすすめていかれてほしい。 |
| 41   |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | (自己評価)<br>食事の摂取量、水分摂取量、献立等個々に記録を管理し支援している。   |   |
| 42   |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | (自己評価)<br>毎食後にひとりひとり声掛けし必ず行っていただけるよう支援している。  |   |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                   |  |
|------|------|--|--------|---|--|
| 43   | 16   | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価) | 個々の排泄記録、日々の生活リズムから排泄のパターンを把握し支援を行っている。          |  |
|      |      |  | (外部評価) |   |  |
| 44   |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価) | 水分補給、歩行運動、毎日のラジオ体操を行い呼びかけている。                   |  |
|      |      |  | (外部評価) |   |  |
| 45   | 17   | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) | 毎日入浴が出来る環境を作り利用者の希望タイミングにあわせて入浴をしていただくように努めている。 |  |
|      |      |  | (外部評価) |   |  |
| 46   |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価) | 常にひとり一人が自由で安心した生活が出来るように支援している。夜間の照明や音にも配慮している。 |  |
|      |      |  | (外部評価) |   |  |



## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------|------|---|--|---|
| 47   |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>本人に薬を渡す時は必ず名前と本人を確認し服用したかきちんと確認している。二人で確認し利用者の方に手渡し服用していただいている。                                  |   |
| 48   |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>日々の生活の中で役割を持って力を発揮していただける環境作りを行っている。状態を見て積極的に声をかけ利用者が参加しやすい状況作りに努めている。                           |   |
| 49   | 18   | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>希望があれば一緒に散歩、買い物等出かけるよう支援している。  |   |
|      |      |   | (外部評価)<br>職員手作りのお弁当を持って公園に出かけることもある。又、職員は、日々の食材の買物に利用者を誘っておられる。車椅子を利用されている方を近くのスーパーに買い物にお連れした際には、ご家族に喜ばれた。 | さらに、利用者個々の懐かしい場所や行ってみたいところを探って、出かけてみるような取り組み等もすすめてみてはどうだろうか。又、外出支援については、ご家族の希望等も聞き取ってみるような機会も期待される。利用者が外出できるような機会を増やしていくために、外出のきっかけ作りについても工夫されてみてほしい。 |
| 50   |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>お預かりしているお小遣いから個々に応じて対応している。  |   |
| 51   |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 利用者が電話をかけたい時、自由にかけられるよう支援している。   |   |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 52   | 19   | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>廊下等に装飾したり家庭的な雰囲気作りをし居心地のよい空間をつくっている。<br>(外部評価)<br>事業所は、掃除に力を入れておられ、おやつ後や食事後に職員が掃除をされている。調査訪問時には、25日に行われる予定のクリスマスパーティーの飾り付けがされており、天井には折り紙で作った輪連が飾られており、クリスマスソングが流れていた。 |                               |
| 53   |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>和室・廊下に椅子を設けたり壁面に季節感のある掲示をしたり思い思いに過ごせる環境作りに努めている。  |                               |
| 54   | 20   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>本人の使い慣れた家具を置いたり好きな絵を貼ったり花等を置いている。<br>(外部評価)<br>居室にテレビを置いている方もあり、お好きなテレビを見ている方もあった。ご家族が来られた際に使用されるソファやご家族の写真等もあった。造花の花を飾っておられる方もいた。ご自宅から持って来られた鏡台で髪を整えたり、身なりを整える方もある。  |                               |
| 55   |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>浴槽手すりの数や車椅子用トイレ等、安全かつできるだけ自立した生活が送れる様に工夫している。各部屋に表札を準備、トイレ等にも目印になるものがあり混乱や失敗を防いでいる。   |                               |